

2025年3月9日（主日礼拝）

■招詞 ヨエル書 2:12-13a 「今こそ、心からわたしに立ち帰れ／断食し、泣き悲しんで。
衣を裂くのではなく／お前たちの心を引き裂け」

■礼拝の祈り

天におられます父なる神よ、

<礼拝の招きへの感謝>

あなたが、今日もわたしたちをこうして教会に、礼拝へと招いてくださいました。さまざまな場所から、異なった生活から呼び出されてここに集まっております。この礼拝堂にともに礼拝する教会の仲間が集うのを見る時、在宅での礼拝をしている友たちのことを思う時、ひとりひとはその生活を抱えたままでありながら、しかし、ただ一人の真実の主、イエス・キリストのお名前を呼び、父なる神のお名前を呼ぶために集められている姿を見ます。

ある者は、病・老いの中にもここに來ることを果たすことができました。ある者は、病を癒された喜びを抱きつつここに集まり、ある者は自分の弱さ、あるいは周りの誘惑に勝って、礼拝に集うことができました。家庭に心配を残しつつもくることがゆるされたものもおります。この礼拝堂を思いつつも在宅で礼拝をしている者もおります。そのような数えきれないさまざまな生活の中から、心と体を礼拝に寄せ、祈りを共にし、御言葉に与りたいとねがっています。この志を与えてくださったのは、父よ、あなたです。

あなたは、今からわたしたちに御言葉を語ろうとしてくださいます。今日、この場所でこの会衆で礼拝するために、わたしたちが集まる以前に、あなたがどれほどの備えをしてくだっただのかと思います。わたしたちひとりひとりを覚え、愛し、名前を呼んでくださいました。一人一人の生活と信仰を保ってくださいました。教会を建て、歩ませ、御言葉を聞こうとする信徒、求める求道者をつくってくださいました。礼拝の備えのために奏樂者をたて、御言葉の取次のために説教者をたててくださいました。この礼拝で、主がどれほど仕えてくださっているのかと思い、あなたの慈しみによるこの奇跡を目の前にして恐れずにはおれません。

<神の御前での罪の告白と悔い改め>

まったくあなたのみ前にでることも、あなたから何かをいただくことにもふさわしくないわたしたちに、なぜここまでしてくださるのか。これまでそのことを問うこともせず、あるいは気づかないふりをして、罪を重ねてきました。心の悩みと思ひ煩いはあなたへの信頼よりも大きくなってしまいました。あなたの戒めではなく、世の迷言や自分の欲求に従ってしまいました。為すべきことを為さず、語るべきことを語りませんでした。ほんの少しのことを思い起こすだけでも、いかに御心に背いてきたかを認めざるを得ません。にもかかわらず、あなたはこの恵みの時をわたしどもには何も求めず与えてくださいます。

<御言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて>

どうか今、主の心に、罪ぬぐわれてたつ喜びに生きることができるようになってください。この礼拝が、主が私たちの間に立ち、平安あれと祝福して下さるこの恵み満ち溢れるものとしてください。そのために御言葉をお語りください。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

2025年3月9日（主日礼拝）

■教会の祈り

<礼拝感謝>

<レントを悔い改め深く過ごすことができますように>

先週の水曜日から受難節、レントを歩みはじめました。特別に主の十字架を思い、みあげるようにとあなたが与えてくださった時です。主イエスの御苦しみと十字架を思い、これがわたしたちの罪のためであったことをもう一度受け取らなくてはなりません。そのために、どうか祈りを深くしてください。わたしたちはどう祈るべきかも知りません。あなたが十字架の祈りを教えて下さいますように。十字架の前に自らを砕き、くずおれた心で祈ることができますように、聖霊をお与えください。

レントの時、ますます主がその肉をさき、血をながしてまでわたしたちを罪の滅びから救ってください、復活によって命を与えてくださったことを深く思い、感謝いたします。あなたに赦され、神の子としての喜びのあゆみをあたえてくだり感謝いたします。

<困難の中にある人を助け、癒し、救ってください>

病、老い、悩みの中にあるものを助けてください。わたしたちの救い主、主イエス・キリストはわたしたちと同じ肉をとり、おなじ誘惑と苦難を経験してくださいました。どうかこの主がともにいてくださるところに慰めと助けがあることをよりどころとさせてください。

この季節、新しい道を歩み始める者、今まさに道を求めている者がおります。どうかあなたがよい道を示してくださいますように。道を求める祈りを与えてください。

14年前の東日本大震災のことを思います。いまだ問題のすべてが解決していません。傷はいえず、苦しみ、悲しみの中にある人がいます。助けてください。嘆きを聞いてください。そしてあなたがともにいてくださる平安を与えてください。

<逝去教師鳥羽和雄先生を覚えて>

わたしたちの連合長老会の群れに仕え、支えてくださった鳥羽和雄先生を主の御手にお委ねいたしました。この教師のすべてをささげて教会に仕えた姿を思い起こします。主イエスを愛してやまなかった姿を思います。藤沢北教会も、その交わりが与えられ、礼拝の御言葉の奉仕によって支えられました。主の教会と地域のために仕えたこの僕をどうか顧みてください。終わりの日の完成の時、主が「忠実な弟子であった」との言葉をかけてくださると信じます。なお、残されて寂しさの中にあるであろう長年共に歩んだ鳥羽徳子先生の魂をなくさめてください。

<悔改めの祈りへと導いてください>

レントの歩みを続けます。恵みの主のみ前に立たされて自分のあやまちを認め、主の十字架のもとにひざまずき、悔改めてあなたに立ち帰る祈りの中を一週間も歩ませてください。

■祝福

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。アーメン。